

第2回学校評価へのご協力ありがとうございました

寒さの中にも、春の足音を感じる季節となりました。

平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございました。また、12月にはお忙しい中、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。今回の結果を受け、改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。また、結果から、ぜひ一緒に考えたいという点について裏面に紹介させていただきました。多くのみなさまのご意見を大切に、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今回のアンケートにつきましては、保護者の皆様から218件の回答をいただくことができました。このアンケートではそれぞれの設問に「よく出来ている」「大体出来ている」「あまり出来ていない」「出来ていない」のどれかを選択しています。そして「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせたものを本校では、その項目を「達成できている」と考えています。

令和7年度 後期アンケート結果

A…よく出来ている B…大体出来ている C…あまり出来ていない D…出来ていない

	確かな学力								豊かな心								健やかな体			
	1	2	3	4	5	5	5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
児童	先生や友達の話の話を聞かれていますか。	勉強していることが、よく分かりますか。	自分の思ったことや考えたことを書いたり話したりできていますか。	進んで本を読んでいますか。	自分から進んで学習に取り組むことができますか。(低)	自分で時間、内容を決めて、取り組むことができますか。(中)	自分で計画を立て、取り組むことができますか。(高)	家庭学習(低・中・高)	進んであいさつをしていますか。	自分も友達も大切にしていますか。	学校で楽しく過ごしていますか。	学校やクラスの決まりや約束を守っていますか。	係や当番の仕事ができていますか。	学校であったことや友達のことについてお家の人と話していますか。	学校のいじめ対策委員会のメンバーを知っていますか。	毎日、朝ご飯を食べていますか。	毎日、早寝早起きをしていますか。(夜は10時までに寝て、朝は7時までに起きる)	安全に気を付けて登下校をしていますか。	進んで体を動かしていますか。	
A %	53.4%	49.4%	42.9%	39.3%	47.4%	33.8%	30.9%	36.8%	78.5%	76.1%	65.0%	34.0%	73.3%	53.8%	60.2%	75.6%	49.6%	84.6%	50.0%	
B %	43.7%	47.4%	44.5%	37.2%	35.5%	55.4%	57.7%	50.2%	19.4%	22.3%	29.7%	58.7%	22.7%	31.2%	14.2%	19.9%	32.5%	13.8%	43.5%	
A+B %	97.1%	96.8%	87.4%	76.5%	82.9%	89.2%	88.6%	87.0%	97.9%	98.4%	94.7%	92.7%	96.0%	85.0%	74.4%	95.5%	82.1%	98.4%	93.5%	
C %	2.8%	2.8%	11.7%	21.9%	17.1%	10.8%	11.3%	13.0%	1.2%	1.6%	3.7%	6.9%	3.2%	12.1%	15.0%	4.1%	12.2%	1.2%	4.5%	
D %	0.0%	0.4%	0.8%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.6%	0.4%	0.8%	2.8%	10.6%	0.4%	5.7%	0.4%	2.0%	

「A」と「B」という評価結果の項目を「達成している」項目と考えています。

児童と保護者の結果を比較できるように表をそろえています。そのため、保護者のアンケート項目が一部空欄となっています。
【上段】児童
【下段】保護者

	確かな学力								豊かな心								健やかな体				学校の取組			
	1	2	3	4	5	5	5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
保護者	子どもが先生や友達の話の話を聞くこと。	子どもが分かりやすい授業であること。	子どもが自分の思いや考えを表現すること。	子どもが進んで本を読むこと。	自分から進んで学習に取り組むこと。(低)	自分で時間、内容を決めて、取り組むこと。(中)	自分で計画を立て、取り組むこと。(高)	家庭学習(低・中・高)	子どもが進んであいさつをすること。	子どもが自分も友達も大切にすること。	子どもが学校で楽しく過ごすこと。	子どもが決まりや約束を守ること。		子どもは、学校であったことや友達のことについて家で話をしますか。	学校は「学校いじめ防止基本方針」のもと、子どもが安心して通える取組をしていること。	子どもが毎日朝食を食べること。	子どもが早寝・早起きをすること。(夜10時までに寝て、朝7時までに起きる)	子どもが安全に気を付けて登下校すること。	子どもが進んで体を動かすこと。	学校が保護者や地域の方々を合わせ、子どもたちの安全を守ること。	学校が保護者や地域の方々を合わせ、子どもたちの安全を見守ること。	学校が家庭や地域と連携して活動すること。	学校の行事が子どもの成長にとって有効であること。	
A %	26.6%	32.7%	27.1%	15.4%	13.7%	10.9%	14.3%	13.1%	25.2%	43.9%	49.5%	26.6%		35.0%	22.0%	82.2%	40.7%	48.1%	39.3%	41.6%	30.8%	30.4%	45.8%	
B %	66.4%	61.7%	56.5%	29.4%	47.9%	51.6%	45.5%	48.1%	54.2%	51.4%	47.2%	57.9%		47.2%	70.6%	15.9%	29.0%	50.5%	39.7%	55.1%	62.1%	62.1%	51.4%	
A+B %	93.0%	94.4%	83.6%	44.8%	61.6%	62.5%	59.8%	61.2%	79.4%	95.3%	96.7%	84.5%		82.2%	92.6%	98.1%	69.7%	98.6%	79.0%	96.7%	92.9%	92.5%	97.2%	
C %	6.5%	5.6%	16.4%	40.2%	24.7%	20.3%	31.2%	25.7%	19.6%	4.7%	3.3%	13.6%		16.4%	6.5%	1.9%	20.6%	0.9%	20.6%	2.8%	7.0%	7.5%	2.3%	
D %	0.5%	0.0%	0.0%	15.0%	13.7%	17.2%	9.1%	13.1%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%		1.4%	0.9%	0.0%	9.8%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	

アンケート結果から

後期の学校評価の結果をご覧くださいと、児童は前期と比べて全体的に評価が上がっている一方で、保護者・教職員の評価はやや下がる傾向が見られました。いずれも大きな変動ではありませんが、子どもと大人の感じ方に少し差が生じている点が気になるところです。

学校では、特に気になった項目について振り返りを行い、改善に向けた取り組みを進めてまいります。今回の結果を踏まえ、子どもたちのよりよい成長につながるよう、学校とご家庭が協力しながら取り組んでいければと考えております。

評価結果につきましては、ご家庭でも資料としてご活用ください。今後ともご理解とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

▼「進んで挨拶」

「挨拶」に関する項目では、児童・保護者・教職員の回答に差が見られました。特に、**児童の自己評価は前期より向上した一方で、保護者や教職員の評価は下がる**という結果となりました。児童については、前期に引き続き「自分は挨拶ができています」と感じている児童が多く、A評価も前期より増えました。本部委員会による挨拶運動などを通じて、**自分から挨拶しようとする意識が高まっていることは、大変嬉しい点**です。一方で、保護者や教職員の評価は下がっており、特に教職員の評価は前期比で約15%の低下が見られました。その要因として、アンケートを実施したのが12月であったことも影響していると考えています。寒さが厳しくなり、児童が肩をすぼめて下を向きながら登校する姿が多く見られ、**自然と挨拶の声が減ってしまったこと**が評価に影響した可能性があります。こうした状況を踏まえ、学校としては、改めて挨拶の基本である「**自分から**」「**相手の目を見て**」「**聞こえる声で**」を重点的に伝えていきます。児童が自信をもって挨拶できるよう、日々の生活の中で教職員から積極的に声をかけてまいります。また、本部委員会でも今回のアンケート結果を共有し、これまでの挨拶運動を振り返りながら、**目的や内容、実施方法を見直す改善の話合いが進んでいます**。翔鸞小学校の児童が、学校内だけでなく地域でも気持ちよく挨拶が交わせるよう、学校全体として取組を一層充実させてまいります。

▼「話す・聞く」「思いや考えの表現」

「人の話を聞く」という項目では、児童・保護者の評価が上がった一方で、教職員の評価が下がるという結果となりました。教室での子どもたちの様子を教職員間で交流したところ、次のような声がありました。

- 聞くよりも話すことを優先し、相手の話を最後まで聞こうとする意識が弱い
- 見た目は聞いているようでも、実際には話の内容をきちんと理解していないことがある

このような状況から、今後は“聞く力”を確実に育てるために指導方法の工夫が必要であると話し合いました。特に新学期の4・5月に重点を置き、次のような取組を徹底していきます。

- 児童が「聞く体勢」になるまで、辛抱強く待つ指導を徹底する
- 話し手の方に体を向ける、姿勢を正すなど「聞いている姿」を積極的に認め、褒める
- 児童が聞きたくなるような話し方や伝え方を、教員側が意識して工夫する

こうした取組を通じて、「相手の話を聞くことができる児童」を育てていきたいと考えています。

一方で、「自分の思いや考えを表現する」という項目では、児童・教職員ともに評価が上がっていました。これは、日頃の研究授業の取り組みが成果として表れはじめていること、また児童が新しい学級や友達に慣れ、協働的に活動できる場面が増えてきたことが考えられます。今後は、**どの教科でも児童が「楽しい」「やってみたい」と安心して表現できる学習環境づくり**を大切にしていきます。児童一人ひとりの“伝えたい気持ち”が自然に引き出されるよう、教職員一同、より良い学習の場をつくってまいります。



▼「早寝・早起き」

「生活習慣」に関する項目では、睡眠時間が十分に確保できていなかったり、生活リズムが少し乱れていたりするお子さんが増えている様子が見られました。また、今年の冬は特に寒さが厳しかったため、体調を崩して欠席や遅刻をするお子さんも多く、生活リズムを整えることが難しい状況が続いたことが、今回の評価に影響したものと受け止めております。

こうした状況を踏まえ、本校では以下のような改善に取り組んでまいります。

■ 睡眠習慣の改善に向けた授業の実施

養護教諭を中心に、学年ごとにテーマを分けて睡眠について学ぶ授業を行います。

2年生：『睡眠と運動』

4年生：『睡眠とメディア』

6年生：『睡眠と朝食』 ※栄養教諭と連携して実施

授業後はワークシートを持ち帰り、ご家庭で保護者の皆さまからコメントをいただく形をとります。**生活改善には家庭での協力が不可欠であり、学校と家庭が一体となって取り組んでいきたいと考えております。**

■ 歯や口の健康に関する指導の充実

乳歯のむし歯や歯肉炎の増加を受け、1・3・5年生を対象に歯と口の健康に関する授業を充実させます。毎日の生活に密着した「**噛む・話す・食べる**」といった基本的な機能を大切に、健康な成長を支える指導を継続してまいります。

